

日本鉱物科学会 2008 年年会 講演セッション内容

スペシャルセッション	趣旨と概要	発表形式
S1：副成分鉱物から探る地球内部ダイナミクス コンビナー 河上哲生：t-kawakami@kueps.kyoto-u.ac.jp 平賀岳彦：hiraga@eri.u-tokyo.ac.jp 橋 省吾：tachi@eps.s.u-tokyo.ac.jp	近年、副成分鉱物は、年代測定可能なジルコンやモナズ石、マントルでのPGE元素のリザーバーとしての硫化鉱物などを中心に、その挙動が広く世界で注目を集めている研究対象の1つとなっており、その微量元素組成などから成因や年代値を厳密に評価する研究は、岩石学・鉱物学・地球化学・年代学・テクトニクスを巻き込んだ世界最先端の話題である。本セッションの目的は、これら諸分野の共同による新たな地球惑星科学の発展のため、副成分鉱物の挙動を基礎的研究により理解し、応用するスタイルを促進することである。副成分鉱物を用いた研究を地殻、マントルなど研究対象を問わず広く募集し、分野横断的な議論が深まることを期待する。	一部依頼講演がありますが一般講演申し込みも可能です。 口頭発表のみ。
S2：岩石-水相互作用 コンビナー 土屋範芳：tsuchiya@mail.kankyotohoku.ac.jp 奥山康子：okuyama-gsj@aist.go.jp 藤本光一郎：koichiro@u-gakugei.ac.jp	鉱物科学会内に「岩石-水相互作用研究部会」が設立されている。この研究部会の実質的活動として、スペシャルセッションを提案する。地圏環境の成り立ちには、岩石と流体が深く関わっている。岩石と流体の相互作用に関する研究を分野横断的に募り、地球固体物質と地殻・マントル流体との相互作用の総合的理解を深め、また、地下利用、地下開発に関する話題を集め、岩石と流体の相互作用の基礎科学と社会技術との関わりを涵養する。	一部依頼講演がありますが一般講演申し込みも可能です。 口頭発表のみ。
S3：大規模珪長質マグマシステム コンビナー 長橋良隆：nagahasi@educ.fukushima-u.ac.jp 山元正継：yamamoto@galena.mine.akita-u.ac.jp 中村美千彦：nakamm@mail.tains.tohoku.ac.jp 吉田武義：tyoshida@mail.tains.tohoku.ac.jp	近年、Large silicic magma systems に関する研究が鉱物学、岩石学、地質学のみならず、鉱床学や地球物理学をも包含した総合的な研究分野として急速に進展している（例えば、JVGR 特集号、v.167, 2007）。その発展には、多くの日本からの研究が寄与しているが、それらの成果をより多くの方々に紹介すると共に、今後を展望する場としたい。	すべて依頼講演です。 一般講演申し込みはできません。 口頭発表のみ
レギュラーセッション	趣旨と概要	発表形式
R1：マグマプロセス・サブダクションファクトリー（共通） コンビナー 田村芳彦：ytamura@ucsc.edu 大場 司：t-ohba@gipc.akita-u.ac.jp 伴 雅雄：ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp 石塚 治：o-ishizuka@aist.go.jp 木村純一：jkimura@jamstec.go.jp	ダイナミックなマグマプロセスおよび大陸地殻を生成する沈み込み帯の鉱物学、岩石学、地球化学、地球物理学的研究	口頭発表 ポスター ◆地質学会 共通セッション
R2：深成岩及び変成岩（共通） コンビナー 宮本知治：miyamoto@geo.kyushu-u.ac.jp 亀井淳志：kamei-a@riko.shimane-u.ac.jp	地殻およびマントルに産出する深成岩および変成岩について、フィールド調査、岩石記載、化学分析、同位体分析、高温高压実験などの室内実験やモデル計算等をもとにした火成作用・変成作用の解析に関する研究発表を募集する。	口頭発表 ポスター ◆地質学会 共通セッション
R3：岩石・鉱物・鉱床一般（共通） コンビナー 角替敏昭：tsunogae@geol.tsukuba.ac.jp	岩石学、鉱物学、鉱床学に関する研究発表を広く募集する。	口頭発表 ポスター ◆地質学会 共通セッション
R4：鉱物の記載・分析 コンビナー 黒澤正紀：kurosawa@geol.tsukuba.ac.jp 宮脇律郎：miyawaki@kahaku.go.jp	本セッションでは、地球および地球外の鉱物の記載およびそれを可能にする分析手法に関する研究を広く募集する。鉱物の様々な特徴（産状・形態・内部組織・結晶構造・組成・流体包有物・固相包有物・結晶欠陥など）と新鉱物の記載、分析手法・解析手法の開発についての発表を歓迎する。	口頭発表 ポスター
R5：鉱物の構造 コンビナー 杉山和正：kazumasa@imr.tohoku.ac.jp 吉朝 朗：yoshiasa@sci.kumamoto-u.ac.jp	本セッションでは、天然および人工鉱物の原子配列および微細構造に焦点を当てた研究を広く募集する。また、鉱物に存在する構造不均一領域の構造解析、ナノスケール構造の解析など、最新の物質科学的方法論を駆使した挑戦的な研究アプローチを歓迎する。	口頭発表 ポスター
R6：鉱物の合成・成長溶解・物性 コンビナー 長瀬敏郎：nagase@mail.tains.tohoku.ac.jp 月村勝宏：tsukimura-katsuhiko@aist.go.jp	本セッションでは、鉱物合成、結晶成長や核形成、鉱物の相転移、鉱物の溶解、および鉱物の物性に関する研究を募集する。鉱物の物性では、磁気的性質、光学性質、熱力学的性質、吸着特性などの鉱物物性について発表をお願いしたい。特に、鉱物の応用に関する研究を積極的に応募いただきたい。	口頭発表 ポスター

R7：地球表層の鉱物科学 コンピーナー 河野元治：kawano@sci.kagoshima-u.ac.jp 小暮敏博：kogure@eps.s.u-tokyo.ac.jp 佐藤 努：tomsato@eng.hokudai.ac.jp	地球表層を構成する鉱物の結晶構造・化学組成・表面特性・溶解及び析出反応、バイオミネラリゼーション、鉱物-水-大気-微生物相互作用、無機-有機相互作用など、地球表層鉱物全般に関する発表を募集する。	口頭発表 ポスター
R8：地球深部の鉱物科学 コンピーナー 永井隆哉：nagai@mail.sci.hokudai.ac.jp 井上 徹：inoue@sci.ehime-u.ac.jp	プレートテクトニクスやプレリウムテクトニクスの概念は、地球深部のダイナミクスが地球の進化や地球表層の環境に大きな影響を与えていることを示唆し、地球深部の鉱物科学を理解することの重要性がより増してきている。本セッションでは、超高压高温実験、計算機実験、地球深部起源鉱物の記載などを通じ、地球深部の鉱物科学を広く議論する。対象は鉱物だけではなく、アナログ物質、非晶質、メルトの研究も歓迎する。	口頭発表 ポスター
R9：地球外物質の鉱物科学 コンピーナー 坂本尚義：yuri@mail.sci.hokudai.ac.jp 海田博司：kaiden@nipr.ac.jp	プレソーラー粒子、宇宙塵、隕石、月試料など地球以外を起源とする固体惑星物質の鉱物科学的な研究発表を募集する	口頭発表 ポスター
R10：噴火と火山発達史（共通） コンピーナー 大場 司：t-ohba@gipc.akita-u.ac.jp 田村芳彦：tamuray@jamstec.go.jp 伴 雅雄：ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp	火山の噴火や噴出物の特徴・堆積様式、あるいは火山発達史・噴火年代や火山体構造など、火山噴火や火山体の形成に関する研究を広く扱う。歴史噴火について、また災害予測やその軽減などに関する話題も歓迎する。	口頭発表 ポスター ◆地質学会 共通セッション
三鉱シンポジウム	趣 旨 と 概 要	発表形式
S：三鉱シンポジウム：岩石学・鉱物学・鉱床学から見たレアメタル資源 (担当学会：資源地質) コンピーナー 渡辺 寧：y-watanabe@aist.go.jp 高橋 浩：takahashi-yutaka@aist.go.jp	本シンポジウムでは現在供給が危ぶまれている希土類やタングステン、ビスマス、インジウム、白金族元素等のレアメタル資源について、岩石学、鉱物学、鉱床学の観点から見た、レアメタルの起源、濃集過程、鉱床形成条件等の発表を歓迎する。これらの発表を基に、現在資源を供給している鉱床タイプや地域のみでなく、新たな鉱床タイプや鉱物からの資源の供給源や、新探査ターゲット地域の開拓を議論する。	一部招待講演がありますが一般講演申し込みも可能です。 口頭発表 ポスター

(共通)：地質学会との共通セッション